



林業・木材産業改善資金

貸付事例集

～林業・木材産業改善資金とは～

林業・木材産業に携わる方が経営改善のため借りることのできる無利子の資金です。

申請をお考えの方は、最寄りの都道府県の林業事務所等の「林業・木材産業改善資金」担当窓口へご相談ください。

令和4年12月版
林野庁企画課金融班

林業・木材産業改善資金貸付事例集 目次

No.	貸付内容
林業関係	
1	フォワーダ
2	ハーベスタ
3	クレーン付きトラック
4	バックホウ
5	バックホウ（グラップル・ウインチ付）
6	バックホウ（フェラーバンチャザウルスロボ等付）
7	バケットグラップル
8	グラップル
9	自走式刈払機
10	ドローン及び周辺機器一式
11	原木しいたけ栽培ハウス
12	きのこ生産施設（スプリンクラー、ボイラー（中古））
13	コンテナ型きくらげ栽培ユニット等
14	オガ粉製造器
15	炭焼き釜
16	モノレール用乗用台車
17	人員輸送車
木材産業関係	
18	モルダー加工機
19	原木計測装置
20	木材チップ生産施設一式
21	リングバーカー設備、丸棒加工機、全自動製材機
22	天然乾燥土場

※ 貸付を行う都道府県により貸付条件等が異なる場合がございます。

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 1

具体的な取組等について	高性能林業機械の導入		
事例の概要	作業効率の向上及び生産コスト削減のための高性能林業機械の導入		
貸付内容	名称	高性能林業機械（フォワーダ）の導入	
	貸付年度	平成30	年度
	事業費	1,890	万円
	貸付額	1,500	万円
	特記事項	フォワーダ1台	
申請者の概要・目的等	<p>これまで使用していたフォワーダは、平成19年に導入したもので、各所の消耗が著しく、故障等で稼働できなくなる可能性が高かったため、エンジン出力が約1.5倍、最大積載量が約1.4倍のモデルを導入することにより、作業効率の向上及び生産コストの削減を目的としたもの。</p>		
改善措置の取組状況（写真）	<div style="text-align: center;">  <p>フォワーダ</p>  <p>フォワーダ稼働状況</p> </div>		
借受者の声	<p>過去に本資金を利用したことがあり、無利子で借りられることから、今回も活用させていただいた。</p>		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 2

具体的な取組等について	素材生産量の増加に資する機械の導入		
事例の概要	高性能林業機械の導入		
貸付内容	名称	ハーベスタ	
	貸付年度	令和2	年度
	事業費	2,970	万円
	貸付額	2,970	万円
	特記事項	－	
申請者の概要・目的等	申請者は、主に素材生産を営んでおり、今回、ハーベスタを導入するとともに、新規に従業員を雇用して素材生産量を増やし、事業の規模拡大を図ることとした。		
改善措置の取組状況(写真)	 <p style="margin: 5px 0;">ハーベスタ: 全景</p>  <p style="margin: 5px 0;">ハーベスタ: アタッチメント</p>		
借受者の声	<p>○当該機械・施設を導入した理由、効果</p> <p>今回ハーベスタを導入したことで、既存機械との併用により複数の現場で造材作業を行うことが可能となり、素材の生産力が増強された。</p>		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 3

<p>具体的な取組等について</p>	<p>クレーン付きトラックの導入</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>木材の出荷において運搬の効率性を高めるため、クレーン付きトラックを導入</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称 貸付年度 事業費 貸付額</p>	<p>クレーン付きトラック 1台 令和 2 年度 1,056 万円 900 万円</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>申請者は森林組合であり、地域の森林整備の中核を担っている。クレーン付きトラックを導入することで、出荷における効率性を高め、経営の改善を図る。</p>	
<p>改善措置の取組状況 (写真)</p>	<div data-bbox="555 831 1257 1283" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="778 1305 1026 1339">クレーン付きトラック</p> <div data-bbox="549 1350 1257 1809" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="770 1816 1066 1850">製材品の積み込み状況</p>	
<p>借受者の声</p>	<p>過去にも、4tトラック、2tトラックの他、チェーンソーや刈払い機等の導入に利用させていただいています。 当資金は年間を通して申請でき、組合長1人の保証で借入れができるので、急に機械・施設の導入が必要になったときなど助かっております。 今年度も高性能林業機械の導入に利用させていただいています。</p>	

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 4

具体的な取組等について	素材生産量の増大及び作業の効率化に資する機械の導入		
事例の概要	バックホウの購入		
貸付内容	名称	バックホウ	
	貸付年度	平成30	年度
	事業費	518	万円
	貸付額	518	万円
特記事項	バックホウ 1台 518万円		
申請者の概要・目的等	伐採から搬出までの作業を自力で実施できる体制を整備し、素材生産量の増大、作業の効率化及び技術力の向上により林業経営の安定化を図る		
改善措置の取組状況 (写真)			
	導入機械		
改善措置の取組状況 (写真)			
	使用状況		
借受者の声	<p>以前は自己所有森林の整備について、外部に委託していたが、自伐作業による効率的な林業経営を目指すため、林業機械購入を検討していたところ、地元森林組合から当該制度を紹介された。</p> <p>一般の融資制度だと利息が発生するが、当資金では無利子で借入れができたため、大変ありがたかった。</p>		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 5

具体的な取組等について	素材搬出作業能率アップによる経費節減（バックホウの導入）		
事例の概要	バックホウの購入		
貸付内容	名称	バックホウ（グラップル・ウインチ付）の購入	
	貸付年度	平成30	年度
	事業費	641	万円
	貸付額	490	万円
	特記事項	3社見積による	
申請者の概要・目的等	<p>当初、バックホウを1台しか所有していないため、土場での積替作業の度にバックホウを移動する必要があったが、新たにバックホウ（グラップル・ウインチ付）を導入し2台体制とすることで、土場へ移動する必要がなくなり、林内作業車が現場と土場を往復する間に木寄せ・集材及び枝払い・玉切りが可能になることから、生産性の向上を図ることができる。</p>		
改善措置の取組状況（写真）	<div style="text-align: center;">  <p>バックホウ</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>バックホウ</p> </div>		
借受者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善資金を利用したことのある知人に紹介してもらい、申し込んだ。 ・ 無利子であるため、また機会があれば利用したい。 		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 6

具体的な取組等について	フェラーバンチャザウルスロボ、グラップル、ウィンチ付きバックホウの導入		
事例の概要	生産性向上のため、フェラーバンチャザウルスロボ、グラップル、ウィンチ付きバックホウを導入		
貸付内容	名称	バックホウ（フェラーバンチャザウルスロボ、グラップル、ウィンチ付き）1台	
	貸付年度	平成30	年度
	事業費	2,268	万円
	貸付額	2,000	万円
	特記事項	バックホウ 1,570万円 アタッチメント他 698万円	
申請者の概要・目的等	申請者は森林組合であり、地域の森林整備の中核を担っている。新たな生産方式を導入することで、生産性を向上させ、経営の改善を図る。		
改善措置の取組状況（写真）			
	<p>作業道作設 (支障木伐採と作業道作設の同時作業)</p> 		
借受者の声	作業道開設時、従来は支障木伐倒者と重機オペレーターの2人で行っていた作業が、フェラーバンチャーの導入により、重機オペレーター1人で作業が可能となり、全体の生産性が向上した。		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 7

具体的な取組等について	新たな高性能林業機械の導入		
事例の概要	経営規模の拡大、生産方式の合理化その他の林業経営又は木材産業経営の改善に伴い必要な資金で農林水産大臣が指定するもの		
貸付内容	名称	バケットグラップル 1台	
	貸付年度	令和3	年度
	事業費	1,210	万円
	貸付額	900	万円
	特記事項		
申請者の概要・目的等	<p>申請者は、森林組合法に基づく組合として、森林施業の受託や森林管理といった森林整備のほか、製材、加工販売など、森林の保続培養、森林生産力の増進に係る事業を行っている。今回のバケットグラップルの導入により、今までは機械のレンタル経費により割高であった木材生産コストの削減と素材生産技術の更なる向上を目指す。</p>		
改善措置の取組状況(写真)	 <p>導入したバケットグラップル</p>		
借受者の声	機械導入を計画しているため、来年度以降も利用する予定。		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 8

具体的な取組等について	生産性の向上に資する機械の導入		
事例の概要	グラップルの導入		
貸付内容	名称	グラップル	
	貸付年度	令和3	年度
事業費	729	万円	
貸付額	729	万円	
特記事項	ミニショベル	553万円	グラップル 176万円
申請者の概要・目的等	申請者は、これまで1台のグラップルで素材生産を行っていたが、もう1台導入することで、生産性の向上を図るもの。		
改善措置の取組状況(写真)	<div data-bbox="566 869 1225 1301" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="821 1305 973 1339">ミニショベル</p> <div data-bbox="566 1346 1225 1787" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="845 1792 981 1825">グラップル</p>		
借受者の声	<p>これまで林業機械を購入する際は殆ど補助事業を活用していましたが、現在、労働者の確保も含め大幅な事業拡大が望めない状況にあります。</p> <p>このため、なるべく借受者の負担が少なく購入する方策を検討していたところ県の普及指導員に紹介していただき活用することにしました。</p> <p>今後も林業機械の更新などに際し活用したいと考えています。</p>		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 9

具体的な取組等について	作業効率化による労働災害の防止		
事例の概要	労働災害を防止するために必要な機械の新規導入		
貸付内容	名称	自走式刈払機 1台	
	貸付年度	令和 2	年度
	事業費	847	万円
	貸付額	800	万円
特記事項	-		
申請者の概要・目的等	近年、再造林や下刈の事業量が増加傾向にあり、労働力不足が続いていることから、作業の効率化に必要な機械を導入し、熱中症等労働災害の防止を図る。		
改善措置の取組状況 (写真)	 		
借受者の声	以前より林業・木材産業改善資金は活用していた。労働力が不足する中、再造林・下刈作業の効率化に加え、小径の竹林伐採にも活用できるほか、現場までの林道の草刈りが必要な場合もあり、作業者の負担軽減となっている。		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 10

<p>具体的な取組等について</p>	<p>ドローン及び周辺機器一式購入</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>現地調査省力化のため、ドローンを購入</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称 ドローン及び周辺機器一式</p> <p>貸付年度 令和元 年度</p> <p>事業費 150 万円</p> <p>貸付額 98 万円</p>	
	<p>特記事項</p>	<p>-</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>現地調査をドローンで行うことにより、現地調査の省力化を図る。</p>	
<p>改善措置の取組状況 (写真)</p>	<div data-bbox="480 1077 1313 1532" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="858 1547 963 1576">ドローン</p>	
<p>借受者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に改善資金を利用したことがあり、この度も県からの提案により利用。 ・ 施業提案の際にすべて事前の現地調査を行う必要があり、職員にとって大きな負担となっていたがドローンの導入により現場状況が省力化出来るようになった。 	



林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 11

<p>具体的な取組等について</p>	<p>生産性の向上に資する施設の新たな導入</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>原木しいたけ栽培ハウスの増設</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称 貸付年度 事業費 貸付額 特記事項</p>	<p>原木しいたけ栽培ハウス 平成29年度 140万円 100万円 -</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>原木しいたけ栽培ハウスを増設し、野外にて休養させているほど木の発生舎として活用することで、原木1本当たりしいたけ収量を増やし、しいたけ増産を目指す。</p>	
<p>改善措置の取組状況(写真)</p>	<div style="text-align: center;">  <p>導入したハウス(外見)</p>  <p>ハウスの活用状況</p> </div>	
<p>借受者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改善資金を知った経緯 しいたけ生産の先代である父親から存在を聞いていた。 ・利用した感想 他の融資制度と比べて、利用に当たっての資格や条件が低く、事業内容の自由度も高いため、使いやすい。また、本資金の利用をきっかけとして、林業関係業者との繋がりも出来た。今後も利用したいと感じている。 	

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 12

<p>具体的な取組等について</p>	<p>きのこ生産効率向上に必要な施設の導入</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>開業して3年以内のきのこ生産業者が、2つの事業所において生産効率向上に必要なスプリンクラーとボイラー（中古）を導入</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称 貸付年度 事業費 貸付額</p>	<p>機械・設備の導入(スプリンクラー設置・ボイラー設置) 令和3年度 1,130万円 998万円</p>
	<p>特記事項</p>	<p>事業所が北海道北斗市と北海道栗山町に分かれており、それぞれで設備を導入した。（それぞれは親子会社）</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>椎茸生産は自然の概念で生産する事が原点であり、そのためにスプリンクラーは欠かせない施設。従来まで手動で行っていた水散布も本施設の導入により、均等的な散布が可能となり生産能力の向上が見込まれるほか、今後の人件費の削減を図ることができる。 また、栗山工場のボイラーも破損していたため、改善資金での取替えができ、生産能力の向上につながる。</p>	
<p>改善措置の取組状況(写真)</p>	<div style="text-align: center;">  <p>スプリンクラー設置</p>  <p>エクオス蒸気ボイラー</p> </div>	
<p>借受者の声</p>	<p>改善資金借入により、スプリンクラー及び新しくボイラーを設置出来ました。今年度夏季の生産売り上げがゼロで、資金不足により経営が不安定だったほか、コロナウイルスまん延の時期と重なり非常に厳しい状態でしたが、無利息で借入でき、非常にありがたく感謝しております。 当社は設立も浅く、経営力が弱いため、今後も支援をお願い出来ればと思います。</p>	

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 13

<p>具体的な取組等について</p>	<p>特用林産物生産の開始（きくらげ栽培）</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>きくらげ栽培におけるコンテナ栽培設備等の導入</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称 貸付年度 事業費 貸付額</p>	<p>コンテナ型きくらげ栽培ユニット等 平成 29 年度 2,100 万円 1,500 万円</p>
	<p>特記事項</p>	<p>きくらげ栽培コンテナユニット 保管・梱包場整備 等</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>申請者は、本事業を行う以前は民間企業で研究開発・商品開発部への営業販売等に従事しており、林産物事業へは新規参入となる。特用林産物の中で国産比率が低いきくらげに着目し、栽培事業を実施している。密閉型コンテナを用い、全自動で室温・湿度を管理することで、年間を通じて安定的な林業経営を実現する。また、営業販売の経歴を活かし、地元直売所等への販路拡大を行っている。</p>	
<p>改善措置の取組状況（写真）</p>	<div style="text-align: center;">  <p>コンテナ外観</p>  <p>コンテナ内観</p> </div>	
<p>借受者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でHPを探し、本事業を知った。 ・ビニールハウス栽培では温度管理が難しいが、気密性の高いコンテナ型栽培ユニットを導入することで、室温・湿度の環境管理が可能となっている。 ・今後も事業拡大し、収益率を上げていきたいので追加で機器を導入することを検討している。 	



林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 14

<p>具体的な取組等について</p>	<p>オガ粉生産量の増加及び品質向上</p>		
<p>事例の概要</p>	<p>オガ粉製造機の更新</p>		
<p>貸付内容</p>	<p>名称 貸付年度 事業費 貸付額</p>	<p>オガ粉製造機 平成29 年度 3,037 万円 3,000 万円</p>	
	<p>特記事項</p>	<p>オガ粉製造機 2,743万円 電気工事その他 294万円</p>	
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>素材生産と製材をおこなっており、オガ粉生産は製材の収益の1/3以上を占めているが、既存機械の老朽化により生産量や品質が安定しないことから、新しい機械を導入することで生産量・品質ともに向上し、販売先を増やすことで林業経営の安定を図る。</p>		
<p>改善措置の取組状況(写真)</p>	 <p style="text-align: center;">オガ粉製造機</p>		
<p>借受者の声</p>	<p>新しい機器の導入にあたり、オガ粉製造機に活用できる補助金等がなかったことから、以前、活用したことがあり、無利子資金であった改善資金を活用することとした。</p>		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 15

<p>具体的な取組等について</p>	<p>炭焼き窯の導入</p>		
<p>事例の概要</p>	<p>木炭生産事業の開始</p>		
<p>貸付内容</p>	<p>名称</p>	<p>炭焼き窯の導入</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>貸付年度 事業費</p>	<p>平成29 56</p>	<p>年度 万円</p>
<p>貸付内容</p>	<p>貸付額</p>	<p>56</p>	<p>万円</p>
<p>特記事項</p>	<p>炭焼き窯 1台 56万円</p>		
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>申請者は運送業（木材運搬）とキャンプ場を営んでおり、入手した不用木等を薪として販売していたが、木炭を求められることもあるため、炭焼き窯を導入することにより、顧客のニーズに対応するとともに、所得の増加を図る。</p>		
<p>改善措置の取組状況（写真）</p>	<div style="text-align: center;">  <p>炭焼き窯</p>  <p>設置場所</p> </div>		
<p>借受者の声</p>	<p>無利子、分割払いで借りられたため、資金繰りが楽になった。</p>		

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 16

具体的な取組等について	モノレール用乗用台車の導入	
事例の概要	人員輸送用台車の導入により、現場への移動にかかる労働強度の低減と移動時間の短縮が図られ、安全性および作業能率の向上につながる。	
貸付内容	名称	モノレール用乗用台車
	貸付年度	平成29 年度
	事業費	154 万円
	貸付額	154 万円
	特記事項	－
申請者の概要・目的等	<p>申請者が所有する山林の手入れや伐出作業を行う際、山道を徒歩で移動していた。そのため、移動に時間がかかり、作業員の疲弊も招いていた。</p> <p>この山林には木材搬出用のモノレールを設置していたため、そのレールの活用と人員輸送用台車の導入により、現場への移動にかかる労働強度の低減と移動時間の短縮を図った。</p>	
改善措置の取組状況(写真)	<div style="text-align: center;">  <p>モノレール用乗用台車</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>モノレール用乗用台車</p> </div>	
借受者の声	<p>林業・木材産業改善資金は以前にも利用したことがあります。無利子なので使い勝手がよく、以前は材の運搬用にトラックやクローラを導入するために利用させていただきました。</p>	

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 17

<p>具体的な取組等について</p>	<p>人員輸送車購入</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>作業班増班に向け、人員輸送車を導入</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称 貸付年度 事業費 貸付額</p>	<p>人員輸送車 1 台 令和元 年度 213 万円 123 万円</p>
	<p>特記事項</p>	<p>人員輸送車：213万円</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>今後の事業値拡大に向けた増班体制構築のため、人員輸送車を導入</p>	
<p>改善措置の取組状況 (写真)</p>	<div data-bbox="477 1151 1310 1599" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="820 1615 967 1644">人員輸送車</p>	
<p>借受者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に改善資金を利用したことがあり、この度も県からの提案により利用。 ・ 作業班が増班され、事業地への移動に利用している。 	



林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 18

<p>具体的な取組等について</p>	<p>製品出荷量の増加に資する機械の導入</p>		
<p>事例の概要</p>	<p>木材加工機械の導入</p>		
<p>貸付内容</p>	<p>名称</p>	<p>モルダー加工機</p>	
	<p>貸付年度</p>	<p>平成29</p>	<p>年度</p>
	<p>事業費</p>	<p>3,370</p>	<p>万円</p>
	<p>貸付額</p>	<p>3,000</p>	<p>万円</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>申請者は製材会社であり、従来機より機械出力が大きいモルダー加工機を導入し、加工能力や稼働率を改善させることにより、製品出荷量の増加を図ることとした。</p>		
<p>改善措置の取組状況 (写真)</p>	<div style="text-align: center;">  <p>モルダー加工機 (遠景)</p>  <p>モルダー加工機 (近景)</p> </div>		
<p>借受者の声</p>	<p>○林業・木材産業改善資金を知った経緯 取引のある金融機関の担当者より</p> <p>○今後も利用したいか 継続的に設備投資をしていく中で、利子の返済は負担であり、無利子の融資は、有難い。</p> <p>○どうなったら更に資金が使いやすくなるか もっと使っていきたいため融資枠を増やしてもらえれば有難い。</p>		



林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 19

具体的な取組等について	原木の計測と選別の効率化を図るため、新たに原木計測装置を導入															
事例の概要	原木を自動で計測するために原木計測装置を導入															
貸付内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">名称</td> <td colspan="2">原木計測装置</td> </tr> <tr> <td>貸付年度</td> <td style="text-align: center;">平成30</td> <td style="text-align: center;">年度</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: center;">1,944</td> <td style="text-align: center;">万円</td> </tr> <tr> <td>貸付額</td> <td style="text-align: center;">1,188</td> <td style="text-align: center;">万円</td> </tr> <tr> <td>特記事項</td> <td colspan="2">原木計測装置本体、付帯設備、据付料</td> </tr> </table>	名称	原木計測装置		貸付年度	平成30	年度	事業費	1,944	万円	貸付額	1,188	万円	特記事項	原木計測装置本体、付帯設備、据付料	
名称	原木計測装置															
貸付年度	平成30	年度														
事業費	1,944	万円														
貸付額	1,188	万円														
特記事項	原木計測装置本体、付帯設備、据付料															
申請者の概要・目的等	<p>申請者は複数の製材工場に素材を供給する協同組合である。これまで素材生産業者が山土場で行っていた原木の検寸作業に代えて、中間土場での自動計測を行うことにより、原木の山土場からの早期搬出、計測作業の効率化により生産性の向上を図る。</p>															
改善措置の取組状況(写真)	<div style="text-align: center;">  <p>原木計測装置</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>操作パネル</p> </div>															
借受者の声	<p>予てより「林業・木材産業改善資金」を利用して設備を導入しており、H30年度には原木計測装置を導入して原木径級の自動化を行い、省力化と選別精度の向上を実現することができました。同資金は無利子であることと、固定資産税の3年間減免措置を得られることがメリットであると思います。</p>															

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 20

<p>具体的な取組等について</p>	<p>生産性の高い木材チップ生産施設の導入</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>製紙等用及び発電用の木材チップの生産を行うために必要な機械・施設の新規導入</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称 貸付年度 事業費 貸付額</p>	<p>木材チップ生産施設一式 平成30 年度 13,186 万円 8,000 万円</p>
	<p>特記事項</p>	<p>チップ（2台）6,498万円、ロータリースクリーン 1,000万円 カッターミル 481万円、スパイラルコンベヤ（7台）5,207万円</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>貸付申請者は、これまでも地域の森林資源を活用し、木材チップの生産を行ってきたが、より生産性の高い木材チップ生産施設を新たに導入することで、木材チップの生産量増大や品質の向上を図る。</p>	
<p>改善措置の取組状況（写真）</p>	<div style="text-align: center;">  <p>チップ（2台）及びスパイラルコンベヤ</p>  <p>カッターミル及びロータリースクリーン</p> </div>	
<p>借受者の声</p>	<p>機械設備を更新するにあたり補助金も考えたが、導入が翌年度となるのでどうしようか悩んでいたところ、県の林業普及指導員から資金のことを教えてもらい、活用することを決めてから、半年後には機械設備の導入の目処がついた。以前の機械より能力が良くなり、生産量が倍増したので、資金を活用して良かった。</p>	

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 21

<p>具体的な取組等について</p>	<p>原木の皮剥を自動化するための搬送装置の導入</p>	
<p>事例の概要</p>	<p>投入作業（原木の材長等選別→投入）の効率化により、生産量増加を図るもの</p>	
<p>貸付内容</p>	<p>名称</p>	<p>リングバーカー設備改善ノーマン仕様 丸棒加工機、全自動製材機</p>
	<p>貸付年度</p>	<p>令和2 年度</p>
	<p>事業費</p>	<p>1,004 万円</p>
	<p>貸付額</p>	<p>1,000 万円</p>
	<p>特記事項</p>	<p>-</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>申請者は、主に原木を購入して杭木等に加工し販売する製材業者。人力で行っていたリングバーカーへの原木投入作業を自動化し、皮剥き工程の回転率を上げ、生産量を増加させる目的で設備投資されたもの。</p>	
<p>改善措置の取組状況（写真）</p>	<div style="text-align: center;">  <p>外観1</p>  <p>外観2</p> </div>	
<p>借受者の声</p>	<p>無利子の融資制度は他にはなく、林業はお金を借りにくいので、非常に良かった。</p>	

林業・木材産業改善資金貸付事例

整理番号： 22

<p>具体的な取組等について</p>	<p>生産量拡大による安定経営</p>		
<p>事例の概要</p>	<p>乾燥材比率の向上と生産量拡大に必要な天然乾燥土場の造成</p>		
<p>貸付内容</p>	<p>名称</p>	<p>天然乾燥土場 16,000㎡</p>	
	<p>貸付年度</p>	<p>令和元</p>	<p>年度</p>
	<p>事業費</p>	<p>7,040</p>	<p>万円</p>
	<p>貸付額</p>	<p>7,040</p>	<p>万円</p>
<p>申請者の概要・目的等</p>	<p>住宅に対する高気密・高断熱性能が求められる中、販売先から乾燥材の要望が高まっていることから、天然乾燥土場を造成することで乾燥材の生産量拡大と効率的な生産による経営の安定を図る。</p>		
<p>改善措置の取組状況 (写真)</p>	<div style="text-align: center;">  <p>造成土場</p>  <p>造成土場</p> </div>		
<p>借受者の声</p>	<p>過去にも本資金を利用した事があるので今回も活用させていただいた。 当事業の実施により、乾燥材の生産量の増加とコストの削減が図れ、経営の安定化が見込まれる。</p>		